

当別文芸の会だよりNO.87

H29・9/23（連絡先・河地良一 TEL090-5076-2550）

9月の読書会は、宇江佐真理の短編集からでした

夏の名残りを思わせる好天の9月16日（土）、2か月振りの読書会でしたが、3連休の初日でしたので、会員のみなさんもそれぞれ予定が重なったのか、当日の参加者は7名でした。

10月の「公開・文芸セミナー」では、副代表の竹原一孝さんが「時代小説の魅力」と題して提言をされるので、その前段として、9月の読書会は函館出身で一昨年66歳で生涯を閉じた宇江佐真理の作品・短編集「彼岸花」（新潮文庫）の中から「つうさんの家」と「彼岸花」の2編を取り上げました。感想交流の司会進行も、そのまま竹原一孝さんをお願いしました。

宇江佐真理は、同じ時代小説家の藤澤周平の影響を受けている一人で、庶民のくらしの中での哀歓に共感しながら、物語を構成しているのを、みなさんそれぞれ強く感じたようです。

それは、時代小説とは言いながら、作者は現代を生きる私たちにも通ずる「人間どうしの絆」の大切さを言いたかったのかも知れません。

文庫本の解説を書いている書評家の東えりかさんは、「生きることは居場所を確保すること、誰かに必要とされること、仕事をして足場を固めること、そんなメッセージをもらったよな気がする。足元がぐらついている今だからこそ、読むべき小説だと思う」と言っています。

作品の読み方、捉え方はそれぞれ自由です。山の頂上をめざすルートは、沢山あるのですから。次回の「公開・文芸セミナー」が楽しみです。

10月は「公開・文芸セミナー」です

- 日時： 10月22日（日） 13:30～16:00
会場： 白樺コミセン 1F小研修室（30名 いす席）
テーマ： 「時代小説の魅力」—藤澤周平と宇江佐真理—
提言 当会副代表 竹原 一孝 さん
「文芸フォーラム」 登壇2名 司会1名（当会幹事）
参加者： 町民のみなさんもお気軽にどうぞ。お待ちしております。
問合せ： 当会代表 河地 良一（TEL090-5076-2550）

*会場の都合により、日程が変更になり10月22日（日）になりました。

